

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 大成温調株式会社

コード番号 1904 URL <https://www.taisei-oncho.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）水谷 憲一

問合せ先責任者 （役職名）上席執行役員 （氏名）池田 仁久 TEL 03-5742-7300

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	43,890	△1.3	2,739	26.4	2,986	21.9	2,090	2.5
2025年3月期第3四半期	44,463	2.3	2,168	34.4	2,450	28.5	2,040	109.3

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 1,959百万円（△13.4％） 2025年3月期第3四半期 2,261百万円（11.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	338.45	—
2025年3月期第3四半期	334.36	330.85

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	48,517	28,988	59.7	4,662.94
2025年3月期	46,411	27,628	59.5	4,565.98

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 28,988百万円 2025年3月期 27,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	66.00	—	66.00	132.00
2026年3月期	—	87.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	87.00	174.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	60,200	△3.7	2,700	△13.3	2,800	△19.6	1,800	△27.6	295.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関連する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	6,882,487株	2025年3月期	6,882,487株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	665,673株	2025年3月期	831,701株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	6,176,680株	2025年3月期3Q	6,102,248株

(注) 当社は株式報酬制度を導入しており、期末自己株式数には、当該株式報酬制度の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式(2026年3月期3Q 64,476株、2025年3月期 56,056株)を、また期中平均株式数を算定するための控除する自己株式数には、当該信託口が保有する当社株式(2026年3月期3Q 57,772株、2025年3月期3Q 54,841株)を含めて計算、記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や賃上げの動き、企業収益の底堅さを背景に、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外経済の減速懸念や不安定な国際情勢、資源・エネルギー・原材料価格の高止まりに加え、円安と物価上昇が実質所得や内需に及ぼす影響などから、先行きについては依然として不透明感が残る状況となりました。

建設業界におきましては、政府による公共投資や大都市圏における再開発プロジェクトに加え、半導体工場やデータセンターなど成長分野への設備投資が引き続き堅調に推移し、需要面では底堅く推移しました。他方で、資機材価格の高止まりや労務費の上昇、技術者・技能労働者の慢性的な人手不足などを背景に建設コストは高水準で推移しており、収益性の確保に向けては依然として厳しい事業環境が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、2021年に策定した中期経営計画「LIVZON DREAM 2030 1st half!」の3つの基本方針①基盤事業の深耕、②成長への投資、③経営基盤の整備を推進し、『コア事業の収益性改善』と『成長のための土台作り』を進めております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比32.5%増の642億43百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同四半期比1.3%減の438億90百万円となり、営業利益は前年同四半期比26.4%増の27億39百万円、経常利益は前年同四半期比21.9%増の29億86百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比2.5%増の20億90百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

売上高につきましては前年同四半期比0.3%減の344億16百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比36.7%増の24億13百万円となりました。

② 米国

売上高につきましては前年同四半期比5.4%増の87億72百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比43.8%増の5億54百万円となりました。

③ 中国

売上高につきましては前年同四半期比59.1%減の6億57百万円となり、セグメント損失は2億53百万円（前年同四半期はセグメント利益12百万円）となりました。

④ オーストラリア

売上高につきましては前年同四半期比58.1%増の44百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比172.4%増の24百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は485億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億6百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が36億80百万円、投資有価証券が7億46百万円それぞれ増加し、受取手形・完成工事未収入金等が18億86百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は195億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億46百万円の増加となりました。その主な要因は、未成工事受入金が35億61百万円増加し、短期借入金が27億円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は289億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億59百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が8億99百万円増加し、自己株式が5億92百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」から変更はありません。なお、連結業績予想の修正が必要と判断された場合には、速やかに別途お知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,842,783	16,523,489
受取手形・完成工事未収入金等	14,720,932	12,834,882
電子記録債権	2,223,807	2,134,981
未成工事支出金	342,777	461,289
商品	16,602	8,488
原材料	165,941	208,051
その他	441,511	393,635
貸倒引当金	△140,372	△123,010
流動資産合計	30,613,983	32,441,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,184,702	3,952,307
機械装置及び運搬具	1,917,468	1,889,342
土地	4,509,726	4,229,750
建設仮勘定	370,791	14,649
その他	545,714	746,498
減価償却累計額	△4,318,063	△4,151,809
有形固定資産合計	7,210,340	6,680,737
無形固定資産		
のれん	1,158,711	1,082,031
顧客関連資産	674,174	594,603
その他	716,290	903,748
無形固定資産合計	2,549,176	2,580,383
投資その他の資産		
投資有価証券	3,878,822	4,625,161
長期貸付金	11,422	9,121
退職給付に係る資産	458,474	453,070
繰延税金資産	63,869	—
その他	1,821,081	1,922,517
貸倒引当金	△196,161	△195,617
投資その他の資産合計	6,037,509	6,814,253
固定資産合計	15,797,025	16,075,374
資産合計	46,411,009	48,517,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,237,918	4,576,967
電子記録債務	1,847,391	1,948,713
短期借入金	2,700,000	—
未払法人税等	801,413	644,259
未成工事受入金	3,802,383	7,363,991
賞与引当金	684,594	269,799
完成工事補償引当金	68,466	44,293
工事損失引当金	17,031	28,081
損害補償損失引当金	513,000	513,000
その他	1,571,514	3,658,484
流動負債合計	18,243,713	19,047,591
固定負債		
繰延税金負債	326,035	336,862
その他	212,305	144,114
固定負債合計	538,340	480,976
負債合計	18,782,053	19,528,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,195,057	5,195,057
資本剰余金	5,086,553	5,086,553
利益剰余金	17,458,136	18,358,076
自己株式	△3,259,183	△2,667,082
株主資本合計	24,480,564	25,972,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,193,620	1,454,666
為替換算調整勘定	1,773,770	1,396,171
退職給付に係る調整累計額	179,827	165,170
その他の包括利益累計額合計	3,147,217	3,016,008
新株予約権	1,173	—
純資産合計	27,628,955	28,988,613
負債純資産合計	46,411,009	48,517,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高		
完成工事高	42,599,002	42,743,281
その他の事業売上高	1,864,477	1,147,026
売上高合計	44,463,479	43,890,307
売上原価		
完成工事原価	36,406,379	35,396,361
その他の事業売上原価	1,688,423	931,759
売上原価合計	38,094,802	36,328,120
売上総利益		
完成工事総利益	6,192,622	7,346,920
その他の事業総利益	176,053	215,266
売上総利益合計	6,368,676	7,562,186
販売費及び一般管理費	4,200,278	4,822,359
営業利益	2,168,398	2,739,827
営業外収益		
受取利息及び配当金	157,146	156,530
持分法による投資利益	—	198,377
為替差益	57,731	—
受取保険金	130,567	15,201
その他	18,252	27,935
営業外収益合計	363,698	398,044
営業外費用		
支払利息	4,974	7,698
持分法による投資損失	31,356	—
為替差損	—	56,801
出資金運用損	34,711	5,915
工事補修費	4,437	67,713
その他	6,426	13,347
営業外費用合計	81,906	151,475
経常利益	2,450,189	2,986,396
特別利益		
固定資産売却益	455,188	187,365
投資有価証券売却益	13,925	5,500
関係会社株式売却益	18,083	—
特別利益合計	487,197	192,865
特別損失		
固定資産売却損	—	12,624
特別損失合計	—	12,624
税金等調整前四半期純利益	2,937,387	3,166,638
法人税等	897,049	1,076,120
四半期純利益	2,040,337	2,090,517
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,040,337	2,090,517

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,040,337	2,090,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169,705	261,046
為替換算調整勘定	54,097	△348,685
退職給付に係る調整額	△5,610	△14,657
持分法適用会社に対する持分相当額	2,947	△28,913
その他の包括利益合計	221,140	△131,209
四半期包括利益	2,261,478	1,959,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,261,478	1,959,308

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	米国	中国	オースト ラリア			
売上高							
一時点で移転される財	6,802,959	—	—	—	6,802,959	—	6,802,959
一定の期間にわたり移 転される財	27,637,827	8,320,517	1,607,922	—	37,566,267	—	37,566,267
顧客との契約から生じ る収益	34,440,787	8,320,517	1,607,922	—	44,369,227	—	44,369,227
その他の収益	66,050	—	—	28,201	94,252	—	94,252
外部顧客への売上高	34,506,838	8,320,517	1,607,922	28,201	44,463,479	—	44,463,479
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	34,506,838	8,320,517	1,607,922	28,201	44,463,479	—	44,463,479
セグメント利益	1,764,988	385,615	12,605	9,101	2,172,310	△3,912	2,168,398

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	米国	中国	オースト ラリア			
売上高							
一時点で移転される財	6,421,575	2,699,245	—	—	9,120,821	—	9,120,821
一定の期間にわたり移 転される財	27,934,210	6,072,947	657,027	—	34,664,184	—	34,664,184
顧客との契約から生じ る収益	34,355,785	8,772,192	657,027	—	43,785,005	—	43,785,005
その他の収益	60,714	—	—	44,587	105,301	—	105,301
外部顧客への売上高	34,416,500	8,772,192	657,027	44,587	43,890,307	—	43,890,307
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	34,416,500	8,772,192	657,027	44,587	43,890,307	—	43,890,307
セグメント利益	2,413,196	554,408	△253,372	24,787	2,739,020	806	2,739,827

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、第1回新株予約権の一部行使により、自己株式131,598株を交付いたしました。

この結果等により、資本剰余金のうちその他資本剰余金の残高が△241,053千円となったため、当該負の値を利益剰余金から振替え、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,086,553千円、利益剰余金が18,358,076千円、自己株式が2,667,082千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
減価償却費	299,088千円	396,611千円
のれんの償却額	76,679	76,679